

特集

ビッグバンド

映画『スウィングガールズ』から熱帯JAZZ楽団まで



エレクトーンステージや発表会、コンクールなどで人気も高いビッグバンド・サウンド。「ビッグバンド」というと、なんとなくは知っている、聴いたことはあるけれど、実は案外よく知らない、という人も多いのでは。そこで、今月はその魅力、基礎知識、そしてエレクトーンで弾くときのサウンド作りなど、ビッグバンドって何?というところから、ご紹介していきます。

3年前の大ヒット映画『スウィングガールズ』以降、スウィング・ジャズを楽しみたい、演奏したいという人たちが楽器を始めたり、バンドを組んだりといった動きが各地で増殖、今でも一過性のブームに終わらない人気が続いています。1930～40年代初めにかけて大流行した、大人数編成のビッグバンドで演奏するスウィング・ジャズの楽しさ、ウキウキするようなグルーブが年齢や経験などを飛び越えて広がったと言っていいでしょう。

ちなみに、ビッグバンドは、スウィング・ジャズを演奏するために誕生しましたが、時代を経る中で、スウィングばかりでなくサウンド的にも多彩な楽曲を演奏するビッグバンドも誕生していきました。そういったバンドやサウンドを「モダン・ビッグバンド」と言い、スウィング・ビッグバンドと区別されますが、今回は、スウィング・ビッグバンドに焦点を合わせてご紹介していきます。

16ページからは、ビッグバンド・サウンドで弾くスウィングの名曲の数々をスコアでお届けします! ぜひ、演奏してその気持ちよさを体感してください!

Let's Play Big Band Sound

